

仕訳パターン別 勘定科目選定シート



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年12月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

仕訳パターン別 勘定科目選定シート

仕訳パターン①売らないものを購入したとき（備品・経費）

事業活動のために使用する物品（販売目的以外）を購入した際のパターンです。

購入したもの	勘定科目（仕訳例）
10万円未満のパソコン	消耗品費 / 現金
業務の情報収集用雑誌	新聞図書費 / 現金
社用車のガソリン	車両費 / 現金
会計ソフト	ソフトウェア / 現金



購入額と使用期間によって科目が変わります。

- 費用（消耗品費など）：1つあたり10万円未満、または使用可能期間が1年未満のもの。

- 資産（備品など）：10万円以上かつ1年以上使用するもの。

※ソフトウェアも同様に、条件によって資産計上が必要です。

仕訳パターン別 勘定科目選定シート

Ⅰ 仕訳パターン②売るものを購入したとき（仕入・材料）

販売目的の商品や、製品を作るための材料を購入した際のパターンです。

購入の目的・内容	勘定科目（仕訳例）
販売する商品の購入	仕入（仕入高） / 買掛金
展示用・見本品の購入	広告宣伝費 / 現金
製品製造のための材料	材料費 / 買掛金



- ・販売目的：一般的に「仕入」を使用します。（「商品」勘定を使う場合もあります）
- ・展示・見本用：原則は「広告宣伝費」ですが、売上のおまけのような性質であれば「仕入」に含める処理も可能です。

仕訳パターン別 勘定科目選定シート

Ⅰ 仕訳パターン③サービスをうけたとき（利用料・手数料）

外部のサービスを利用し、対価を支払った際のパターンです。

サービス内容	勘定科目（仕訳例）
機材の一時的なレンタル	レンタル料 / 現金
機械等の修理（性能向上なし）	修繕費 / 現金
電気・ガス・水道の利用	水道光熱費 / 現金
ネット・電話の利用	通信費 / 現金
交通機関・宅配便の利用	旅費交通費または荷造運賃/現金



- ・リース：企業が自社で設備投資を行わず、外部のリース会社から設備や車両などを長期間使用する契約。
- ・修繕：性能が向上する改良は「資産」、現状回復は「修繕費」となります。

仕訳パターン別 勘定科目選定シート

Ⅰ 仕分けパターン④公的な費用を払ったとき（税金・手数料）

国や自治体に税金や手数料を支払った際のパターンです。

支払の内容	勘定科目（仕訳例）
収入印紙の購入	租税公課 / 現金
固定資産税の納付	租税公課 / 現金
印鑑証明書等の発行手数料	租税公課 / 現金
従業員の源泉徴収税（天引き）	(給料) / 預り金



- ・ **租税公課**：税金や公的な手数料の支払いに使用します。

- ・ **預り金**：源泉徴収税は「従業員が払うべき税金」を会社が代行して納めるため、経費ではなく負債（預かったお金）として処理します。